

## Ⅱ 第2回北洋（さけ、ます、底魚）漁場に関する 水産海洋研究座談会

主催 { 水産海洋研究会  
北洋資源研究協議会

主 題 第2回北洋（さけ、ます、底魚）漁場に関する水産海洋研究座談  
会

日 時 昭和38年12月23日 13時～17時30分

場 所 東京都千代田区平河町 日本都市センター第4、第5会議室

話題及び話題提供者

### (イ) 底 魚

(1) 北洋底魚研究の現況と環境調査の問題点 : 木部崎修（東海区水研）

(2) 北洋底魚漁業の現状と漁海況の問題 : 岩崎史郎（大洋）

### (3) 討 論

### (ロ) さけ、ます

(1) 今年の漁海況の特徴について : 佐野蘊（水産庁）

広瀬寛（日 魯）

吉原英吉（日 水）

吉光虎之助（大 洋）

佐久間登（宝 幸）

温泉川洋彦（函館公海）

大和寿男（報 国）

大金 充（北海道公社）

宮本幸久（極 洋）

(2) 米加の北太平洋における冬季の海洋調査計画について :

猪野 峻(水産庁)

(佐野 蘊 代読)

## (イ) 気 象

### (1) 北洋漁場の気象について

根本順吉(気象庁)

### (2) 討 論

## (ロ) 海 況

### (1) 今年の北洋の海況について :

進士福太郎(気象庁)

平野敏行(東海区水研)

宇田道隆(東京水大)

コンピナー：平野敏行

参会者：水産庁調査研究部 6名、東海区水産研究所 8名、北海道区水産研究所 3名、鯨類研究所 2名、東京水産大学 7名、東京大学海洋研究所 3名、気象庁 2名、水路部 1名、北洋底魚母船協議会 1名、日魯漁業 2名、日本水産 4名、大洋漁業 5名、極洋捕鯨 3名、宝幸水産 4名、報国水産 4名、函館公海漁業 3名、北海道漁業公社 2名、海上電機 1名、日鮭連 1名、北洋資源研究協議会(大水) 6名、他 1名、計 69名。

## 1. 概 要

北洋資源研究協議会藤田巖会長、水産海洋研究会宇田会長の挨拶に続き、コンピナーの司会により、上記話題に入る。各話題の内容は、別項掲載の通りであるが、話題提供に対し、時間が不十分であったために海況関係については、後日、第3回座談会にゆずることになった。